

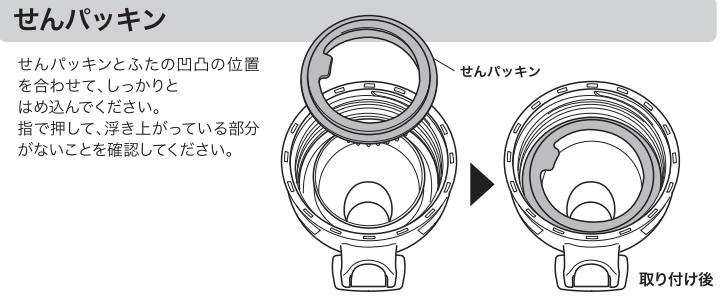
⚠️ お手入れ上の注意

- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となるおそれがあります。
- 本体を洗った後は、すぐに水分を拭き取ってください。
水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。
- シンナー、クレンザー、金属たわし、化学雑巾などは使用しないでください。
キズやサビ、破損の原因になります。
- 本体やせんユニットの煮沸はしないでください。
変形や漏れの原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
サビ、破損の原因になります。
- 酸素系漂白剤は本体外びんにはご使用いただけません。
- 本体・せんユニットの浸け置き洗いなどはしないでください。
- せんユニットを本体に取り付けたままお手入れしないでください。
お手入れの際はそれぞれ取りはずした状態でこなってください。
- 長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。
- スポーツ飲料を入れた時は、使用後すぐにお手入れをしてください。
においの付着やサビ等の原因になります。
- 食器洗浄機・乾燥機を使用する際、次の点を必ず守ってください。
 - 本体・せんユニット・パッキンは、それぞれ取りはずした状態で洗浄してください。
内部に水分が残り、におい、汚れ、劣化の原因となるおそれがあります。
パッキンは洗浄時の紛失にご注意ください。
 - ヒーター付近や温風吹き出し口の近くには置かないでください。
高温により変形、変色の原因となります。
 - 食器がこの金属(無塗装)部分に本体が直接触れないようにしてください。
キズ、変形の原因となります。
 - 業務用の食器洗浄機・乾燥機では使用しないでください。

パッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。

お手入れなどで、ふたパッキン・せんパッキンを取りはずした後は、正しく取り付けてください。



交換部品

●パッキンは消耗品です。1年を目安に傷、損傷などが無いかを確認し不具合がある場合は使用をやめ、部品交換してください。

交換部品のご購入はこちらから

アトラスオンラインショップ

<https://www.atlasonline.jp>

製品仕様

品 名		ステンレス製携帯用魔法瓶
材 料 の 種 類	本 体	内びん／ステンレス鋼 胴 部／ステンレス鋼 口 金／ステンレス鋼
	ふ た ・ せ ん	ポリプロピレン
	ロックリング	ABS樹脂
	プッシュボタン	ABS樹脂
パ ッ キ ン	シリコンゴム	
	ポ ー チ	外 生 地／ポリエステル 内 生 地／ポリエステル ク ッ シ ョ ン／発泡ポリエチレン 底／ポリエステル・ポリ塩化ビニル 肩 掛 ベ ル ト／ポリエステル ※1 手 提 げ ベ ル ト／ポリエステル ※2 留 め 具／ポリプロピレン

品番	実容量	保冷効力	MADE IN CHINA
ADBT-Q604	0.6L	10℃以下(6時間)	
ADBT-Q804	0.8L		
ADBT-Q1004	1.0L	9℃以下(6時間)	
ADBT-Q1504	1.5L		
ADBT-Q2004	2.0L		

*保冷効力とは室温20℃±2℃において製品に冷水をせんユニットの下端まで入れ、水温4℃±1℃になったとき、せんユニットをして縦置きにした状態で6時間放置した場合におけるその水の温度です。

*実容量とは、せんパッキンまでの全容量です。ご使用の際は取扱説明書をご確認のうえ、適切な量を入れてご使用ください。

※1.肩掛ベルトは0.6L、0.8L、1.0L、1.5Lの製品に付属しています。
※2.手提げベルトは2.0Lの製品に付属しています。

表示者 株式会社アトラス

192-0046 東京都八王子市明神町4-7-15 落合ビル2F

<https://www.atlas-scm.jp/>

お問い合わせ

TEL.042-660-8870

受付時間／9:00～18:00

月～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お買い求めの販売店までご連絡ください。



ダイレクトスポーツボトル

取扱説明書

ADBT-Q04シリーズ

このたびは、当社のダイレクトスポーツボトルをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただきま
すよう、お願いいたします。
また、本書は、万ーご使用中にわからなくなった
ときにお役に立ちますので、いつでもみられるところ
に大切に保管してください。

●ご使用の前に

- はじめてご使用になる前に本体のキズ・凹み、せんユニットのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 底面の製造ロットシールははがさないください。
- はじめてご使用になるときは、本体内側・せんユニットを食器用洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。

●各部のなまえ

※イラストは実際のものとは異なる場合があります。また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

ご使用上の注意 保冷専用


警告

●この商品は、保冷専用です。
熱いものは絶対に入れないでください。やけどの原因になります。


注意

●乳幼児の手の届く場所には置かないでください。また、いたずらには注意してください。
●肩掛ベルトは首からかけずに、肩から斜めがけてください。
●手提げベルトは首や肩にかけずに、手で持ってください。
●肩掛ベルト・手提げベルトを使用した状態で運動したり遊んだりしないでください。
●肩掛ベルト・手提げベルトを持って振り回さないでください。
破損や事故の原因になります。また過度の荷重がかかると肩掛ベルト・手提げベルトがはずれるおそれがありますので、絶対におこなわないでください。
●冷たい飲みものをに入れて結露する場合は、構造に不具合のある可能性がありますので使用しないでください。

- せんユニットは必ずはずしてから飲みものをに入れてください。
せんユニットを付けたまま飲みものを入れると、飲みものが飛散して、ものを汚す原因になります。
- 飲みものの量は、取扱説明書4ページ右下の図を参考にしてください。
入れすぎるとせんユニットが開かなくなったり、締めたときに飲みものが溢れ出す原因になります。また、使用中に漏れてものを汚す原因になり危険です。
- 大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく砕いて入れてください。
キズが付くおそれや飲みものが溢れる原因となります。
- ふたパッキン、せんパッキンが正しく取り付けられていることを確認してご使用ください。(8ページ参照)
飲みものが漏れ、ものを汚す原因になり危険です。
ふたパッキン、せんパッキンの取りはずしの際には紛失及び未装着に注意してください。
- せんユニットを締めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。
飲みものが溢れ出す原因になります。また、漏れてものを汚す原因になり危険です。
- せんユニットが確実に締まっていることを確認してください。
締め方が不十分ですと、傾けた場合飲みものが漏れ、ものを汚す原因になり危険です。
- ストープやコンロなど火気のそばに近づけないでください。
やけどや製品の変形・変色の原因になります。
- 電子レンジで加熱しないでください。
火花が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。
- 冷凍庫には入れないでください。
- 飲み終わったら、本体を立て、ふたを確実に閉めてください。
本体を傾けたりして飲みものが漏れないことを確認してください。

- 製品の構造上、湿度が高いときに、せんユニット部分に水滴がつく場合があります。ご注意ください。
- 飲みものを入れた状態で本体を逆さまにしないでください。
- 次のものは絶対に入れないでください。
 - アルコール類
 - ドライアイス・炭酸飲料水
 - 内圧が上がり、せんユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、せんユニットが破損して飛散することがあり危険です。
 - 牛乳・乳製品・果汁など腐敗しやすいものの成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、せんユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、せんユニットが破損して飛散することがあり危険です。
 - お茶の葉・果肉
 - すきまなどにつまり、漏れてものを汚す原因になります。

- においの強いものを入れたとき、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。
6ページの「お手入れ方法」に従って、汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。

- 飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、せんユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、せんユニットが破損して飛散することがあり危険です。

- お茶などは早めにお飲みください。長時間保存するとお茶の色や味が変わります。

- 落したり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。
変形や割れ、保冷不良の原因になります。また、せんユニットの破損の原因になります。

- 改造・修理・分解は絶対にしないでください。破損、事故の原因となり危険です。

- バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。
万一の漏れを防ぎます。

- パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。
万一、内容物が漏れた場合、精密機器の故障の原因になるおそれがあります。

- 持ち運ぶ際、次の点を必ず守ってください。
持ち運ぶ際は、ふたをきちんと閉め、せんユニット部分を持って運ばないでください。

- 運転中は危険ですので使用しないでください。
車内や衣服を汚したり、ものを汚す原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。ドリンクホルダーに入れる場合は、あらかじめホルダーの強度を確認してからご使用ください。強度や固定が不十分ですと破損したり、はずれて落下のおそれがあります。

- 直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。

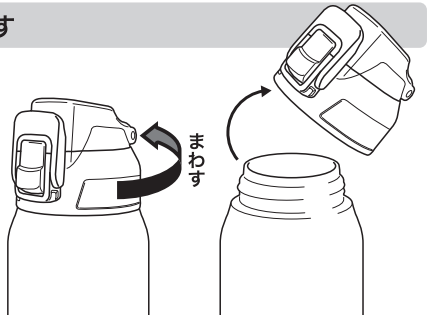
ご使用方法

- ご使用の前に

●はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
●製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。
不具合があった場合、修理・分解はせずにご使用をおやめください。

1 せんユニットをはずす

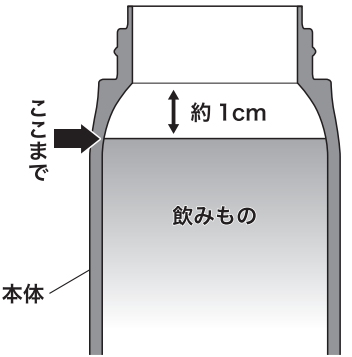
せんユニットを矢印の方向へまわしてはずします。



2 飲みものを入れる

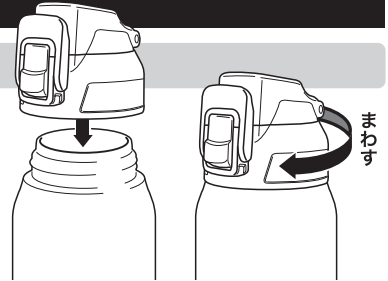
飲みものの量は、右図の 部までに入してください。入れすぎるとせんユニットを締めたときに中身が溢れる場合があります。入れすぎた場合は、減らしてから、せんユニットを締めてください。

※あらかじめ、本体に少量の冷水を入れ、1分程度置き、予冷してから入れ替えると保冷に効果的です。



3 せんユニットを締める

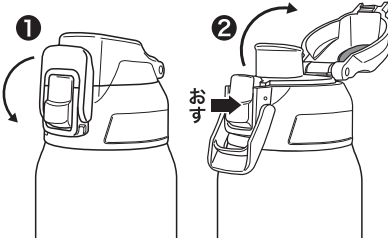
せんユニットを矢印の方向へまわして締めます。



4 飲みものを飲む

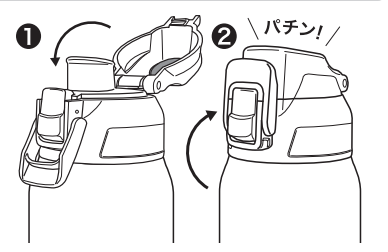
- ①本体を立てた状態でロックリングを下げます。
- ②プッシュボタンを押してふたを開け、ゆっくり傾けながら飲みものを飲んでください。

※飲み口に残っていた水滴が飛散することがありますので、ご注意ください。



5 飲み終わったら

- ①本体を立てて、ふたを閉めます。
- ②ロックリングを上げます。
パチンと音がなり、しっかりとロックされていることを確認してください。



お手入れ方法

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジでおこなってください。

- 本体(外側・内側)

ぬるま湯で薄めた食器用洗剤を柔らかいスポンジ・フキンに含ませて洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。
- せんユニット

せんユニットは丸洗いでできます。スポンジで洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。
- パッキン

パッキンをせんユニットから取りはずし、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。
- ポーチ

水または30℃以下のぬるま湯で軽く手洗いで、十分に乾燥させてください。

- 食器洗浄機・乾燥機を使用する場合
- ご使用になる食器洗浄機・乾燥機の取扱説明書をご確認のうえ、使用してください。

赤い斑点・ザラザラが付着した場合

ボトル内側にサビのような赤い斑点や、ザラザラしたものが付着した場合には

- サビのような赤い斑点ができた場合
- 水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分程度放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシなどで内びんの内壁をよく洗ってください。食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

- ザラザラしたものが付着した場合
- 水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、せんユニットを取り付けず3時間程度放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシなどで内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

食器洗浄機・乾燥機を使い、塗表面が白く変色した場合

白く変色したように見える場合は、食器洗浄機用洗剤の成分や、水垢・カルキが付着しているおそれがあります。気になる箇所に熱湯をかけ、すぐに乾いた布で拭き取ってください。ぬれたまま放置すると、水滴の跡が残る原因になります。本体が熱くなりますので、やけどに十分ご注意ください。